

氏名	森 井 和 彦
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 甲 第 1068 号
学位授与の日付	平成 4 年 3 月 31 日
学位授与の要件	医学研究科 内科系内科学(一) 専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Anti-C100-3 antibody status, viral genomic sequences, and clinical features in chronic hepatitis patients with hepatitis C virus RNA in sera (C型肝炎ウイルスRNAが検出される慢性肝疾患患者における抗体C100-3抗体とウイルス塩基配列及び臨床像の検討)
論文審査委員	教授 新居 志郎 教授 太田 善介 教授 木村 郁郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

C型肝炎ウイルスの塩基配列の違いが慢性肝疾患の病態に違いをもたらすかどうかを検討するために、非A非B型慢性肝疾患164症例の血清から、5'-noncoding region, Core region, およびNS3/4regionの塩基配列をプライマーとするPCR法によりC型肝炎ウイルス(HCV) RNAの検出を行った。RNAの検出される症例を、抗C100-3(抗HCV)抗体陽性群と陰性群とに分け、両群間に臨床所見やHCV RNAの塩基配列の差があるかを検討した。

HCV RNAは159症例(97.0%)に検出され、標的領域別では、5'-noncoding region 95.5%, Core region 81.8%, NS3/4 region, NS3/4PCR) 54.3%であった。抗HCV抗体は129例(81.1%)に陽性であった。

抗体陽性群ではガンマグロブリン, ZTT, NS3/4PCRの陽性率がそれぞれ 1.61 ± 0.05 (g/dl), 14.0 ± 0.33 (KU), 63.6%であり、陰性群の 1.27 ± 0.13 (g/dl), $11/1 \pm 0.13$ (KU), 23.3%に比べて有意に高値であった(それぞれ $p < 0.05$, $p < 0.01$, $p < 0.01$)。

抗体陽性1例と陰性2例のNS3/4PCR産物の塩基配列を比較したが、有意な差は認めなかった。

これらの結果から、HCV RNAの塩基配列の関与も否定できないが、抗HCV抗体の出現には患者個々の臨床的背景或いは免疫応答性が関係していることが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は、非A非B型慢性肝疾患患者の血清からのC型肝炎ウイルスRNAの検出の有無、検出RNAの塩基配列、臨床像などと、患者の抗HCV抗体保有の有無との相互関連について検討したもので、C型肝炎の病態の解明に関連して有意義な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。